

現金取得者向け対象住宅証明書発行サービス

[別紙] 一括申請住宅番号整理票 参照

設計内容説明書 <鉄筋コンクリート造等> 5-1断熱等性能等級ver

の欄を記入のこと

建築物の名称			
建物種別	戸建住宅	共同住宅等	(一戸申請 一括申請 [別紙必須])

		設計内容説明欄			確認欄
		項目	設計内容	記載図書	
温熱環境・エネルギー消費量に関すること	5-1 断熱等性能等級	等級	等級 4		
		地域の区分	地域		
	躯体・開口部の断熱性能等	適用する基準	外皮性能基準(計算) 外皮仕様基準		
		外皮性能基準(計算)			
		外皮平均熱貫流率	外皮平均熱貫流率 UA値 設計値 (W/m ² ·K)	外皮平均熱貫流率 日射熱取得率計算書 断熱範囲図 仕上表 平面図 矩計図 計算U値計算書	
		冷房期の平均日射熱取得率	冷房期の平均日射熱取得率 AC値 設計値 ()		
		外皮仕様基準			
	躯体の断熱性能等	1/10	断熱材仕様 () 断熱材厚さ (mm) 熱伝導率 (W/m·K) 熱抵抗値 (m ² ·K/W) 基準値 (m ² ·K/W) 熱貫流率 (W/m ² ·K) 基準値 (W/m ² ·K)	外断熱 内断熱	断熱範囲図 仕上表 平面図 矩計図 計算U値計算書
		2/10	断熱材仕様 () 断熱材厚さ (mm) 熱伝導率 (W/m·K) 熱抵抗値 (m ² ·K/W) 基準値 (m ² ·K/W) 熱貫流率 (W/m ² ·K) 基準値 (W/m ² ·K)	外断熱 内断熱	
		3/10	断熱材仕様 () 断熱材厚さ (mm) 熱伝導率 (W/m·K) 熱抵抗値 (m ² ·K/W) 基準値 (m ² ·K/W) 熱貫流率 (W/m ² ·K) 基準値 (W/m ² ·K)	外断熱 内断熱	
		4/10	断熱材仕様 () 断熱材厚さ (mm) 熱伝導率 (W/m·K) 熱抵抗値 (m ² ·K/W) 基準値 (m ² ·K/W) 熱貫流率 (W/m ² ·K) 基準値 (W/m ² ·K)	外断熱 内断熱	
		5/10	断熱材仕様 () 断熱材厚さ (mm) 熱伝導率 (W/m·K) 熱抵抗値 (m ² ·K/W) 基準値 (m ² ·K/W) 熱貫流率 (W/m ² ·K) 基準値 (W/m ² ·K)	外断熱 内断熱	
		6/10	断熱材仕様 () 断熱材厚さ (mm) 熱伝導率 (W/m·K) 熱抵抗値 (m ² ·K/W) 基準値 (m ² ·K/W) 熱貫流率 (W/m ² ·K) 基準値 (W/m ² ·K)	外断熱 内断熱	
		7/10	断熱材仕様 () 断熱材厚さ (mm) 熱伝導率 (W/m·K) 熱抵抗値 (m ² ·K/W) 基準値 (m ² ·K/W) 熱貫流率 (W/m ² ·K) 基準値 (W/m ² ·K)	外断熱 内断熱	
		8/10	断熱材仕様 () 断熱材厚さ (mm) 熱伝導率 (W/m·K) 熱抵抗値 (m ² ·K/W) 基準値 (m ² ·K/W) 熱貫流率 (W/m ² ·K) 基準値 (W/m ² ·K)	外断熱 内断熱	
	9/10	断熱材仕様 () 断熱材厚さ (mm) 熱伝導率 (W/m·K) 熱抵抗値 (m ² ·K/W) 基準値 (m ² ·K/W) 熱貫流率 (W/m ² ·K) 基準値 (W/m ² ·K)	外断熱 内断熱		
	10/10	断熱材仕様 () 断熱材厚さ (mm) 熱伝導率 (W/m·K) 熱抵抗値 (m ² ·K/W) 基準値 (m ² ·K/W) 熱貫流率 (W/m ² ·K) 基準値 (W/m ² ·K)	外断熱 内断熱		

現金取得者向け対象住宅証明書発行サービス

の欄を記入のこと

設計内容説明書 <鉄筋コンクリート造等> 5-1断熱等性能等級ver

等級	設計内容説明欄			確認欄
地域区分	項目	設計内容	記載図書	
温熱環境・エネルギー消費量に関すること	外皮仕様基準			
	構造熱橋部 規準 等級4の 場合のみ記入 (8地域を除く)	断熱材の種類 ()	断熱範囲図	
		天井 断熱材の厚さ (mm)		
		天井 熱伝導率 (W/m·K) 基準値		
		天井 熱抵抗値 (W/m ² ·K) (W/m ² ·K)		
		壁 断熱材の種類 ()		
		壁 断熱材の厚さ (mm)		
	壁 熱伝導率 (W/m·K) 基準値			
	壁 熱抵抗値 (W/m ² ·K) (W/m ² ·K)			
	床 断熱材の種類 ()			
	床 断熱材の厚さ (mm)			
	床 熱伝導率 (W/m·K) 基準値			
	床 熱抵抗値 (W/m ² ·K) (W/m ² ·K)			
	外断熱補強範囲 (mm以上)			
	内断熱補強範囲 (mm以上)			
	開口部比率の 区分	区分(い) 区分(ろ) 区分(は) 区分(に)		
	開口部の 断熱性能	開口部の熱貫流率 W/m ² K 2%緩和の適用あり	下記選択数値以下 8地域基準なし	2%緩和計算書 計算U値計算書
	開口部比率区分	1, 2 及び 3	4	5, 6 及び 7
	(い)	2.91	4.07	6.51
	(ろ)	2.33	3.49	4.65
(は)	1.90	2.91	4.07	
(に)	1.60	2.33	3.49	
窓の日射遮蔽 仕様	窓の日射遮蔽仕様 4%緩和の適用あり		4%緩和計算書	
	戸建住宅等用			
地域区分	開口部 比率	建具の種類若しくはその他又は付属部材、ひさし、軒等の設置		
1～3地域	(い)(ろ)(は)(に)	-		
4地域	(い)(ろ)(は)(に)	-		
5～7地域	(い)	-		
	(ろ)	ガラスの日射熱取得率が0.74以下であるもの 付属部材又はひさし、軒等を設けるもの		
8地域	(は) 及び (に)	ガラスの日射熱取得率が0.49以下であるもの ガラスの日射熱取得率が0.74以下のものに、ひさし、軒等を設けるもの 付属部材(南±22.5度に設置するものについては、外付けブラインドに限る) を設けるもの		
	(い)	付属部材又はひさし、軒等を設けるもの		
	(ろ)	ガラスの日射熱取得率が0.68以下のものに、ひさし、軒等を設けるもの 付属部材を設けるもの		
	(は)及び (に)	ガラスの日射熱取得率が0.49以下のものに、付属部材(南±22.5度に設置 するものについては、外付けブラインドに限る)又はひさし、軒等を設けるもの		
	共同住宅等用			
地域区分	開口部 比率	建具の種類若しくはその他又は付属部材、ひさし、軒等の設置		
1～3地域	(い)(ろ)(は)(に)	-		
4地域	(い)(ろ)(は)(に)	-		
5～7地域	(い)(ろ)(は)(に)	-		
8地域	(い)	-		
	(ろ)	付属部材又はひさし、軒等を設けるもの		
	(は)及び (に)	ガラスの日射熱取得率が0.68以下であるものに、ひさし、軒等を設けるもの 付属部材を設けるもの		
	<p>「付属部材」 和障子と外付けブラインド等、開口部に建築的に取り付けられるもの</p> <p>「ひさし、軒等」の設置の場合の仕様 オーバーハング型日除けで、東南から南を経て南西までの方位に設置 外壁からの出寸法がその下端から窓下端までの高さの0.3倍以上</p>			

依頼パターン記号	一次エネ1/1
[別紙] 一括申請住宅番号整理票 参照	

現金取得者向け対象住宅証明書発行サービス

設計内容説明書 < 鉄筋コンクリート造等用 > **5-2 一次エネルギー消費量等級**

の欄を設計者が記入のこと

建築物の名称					
建物種別	戸建住宅	共同住宅等	(一戸申請 一括申請 [別紙必須])	
等級	項目	設計内容	記載図書	確認欄	
地域の区分					
温熱環境・エネルギー消費量に関すること	評価適用基準				
	一次エネルギー消費量性能基準(計算)			一次エネルギー消費量計算結果	
	一次エネルギー消費量仕様基準	外皮性能 5-1における外皮性能が等級4の基準に適合相当(結露発生防止基準を除く) 設計施工指針附則5に適合		外皮性能適合確認書類 附則適合確認書類	
	5-2 一次エネルギー消費量等級	一次エネルギー消費量性能基準(計算)			
	基本事項等	一次エネルギー消費量	・設計一次エネルギー消費量 (別途計算書による GJ/年) ・基準一次エネルギー消費量 (別途計算書による GJ/年)	仕上表 平面図 矩計図	
	設備機器概要	面積等	・主たる居室の面積 ・床面積の合計 (別途計算書による m ²)		
		床面積あたりの一次エネルギー消費量	(別途計算書による MJ/(m ² ・年))		
	設備機器概要	暖房方式	・暖房方式 ・冷房方式	冷房方式	平面図 機器表 系統図
		換気設備方式 給湯設備	・換気設備方式 ・給湯熱源機 ・配管方式 ・水栓 ・浴槽 ・太陽熱給湯	・冷房方式	
	設備機器概要	照明設備	・主たる居室 ・その他の居室 ・非居室		
		太陽光発電設備の採用	ソージェネレーション設備の採用 ()		
	一次エネルギー消費量仕様基準				
	設備機器概要	・暖房設備 (8地域を除く)			各設備での同等以上の評価となる等の評価とする場合、標準仕様の計算書と設計設備仕様で計算した一次エネルギー消費量計算結果が必要となります
		単位住戸全体を暖房する方式 ダクト式セントラル空調であってヒートポンプが熱源			
		居室のみを暖房する方式			
連続運転		1~4地域	石油熱源機を用いた 温水暖房用パネルラジエーター JIS S3031熱効率 83.0%以上 かつ、 配管に断熱被覆あり	5~7地域 ガス熱源機を用いた 温水暖房用パネルラジエーター JIS S2112熱効率 82.5%以上 かつ、 配管に断熱被覆あり	
		間歇運転	密閉式石油ストーブ(強制対流式) JIS S3031熱効率 86.0%以上	ルームコンディショナー JIS B8615-1 暖房能力を消費電力で除した数値が -0.321×暖房能力(KW)+6.16以上	
これと同等以上の評価となる					
・冷房設備					
単位住戸全体を冷房する方式 ダクト式セントラル空調であってヒートポンプが熱源					
居室のみを暖房する方式					
間歇運転		ルームコンディショナー JIS B8615-1 冷房能力を消費電力で除した数値が -0.504×暖房能力(KW)+5.88以上			
これと同等以上の評価となる					
・換気設備					
全般換気設備の比消費電力 換気回数0.5回以下の場合において0.3(W/(m ³ /h))以下 これと同等以上の評価となる					
・照明設備					
非居室に白熱灯を採用しない これと同等以下の性能の照明設備を採用しない					
・給湯設備					
1~4地域		5~8地域			
石油給湯機 JIS S2075 モード熱効率 81.3%以上		ガス給湯機 JIS S2075 モード熱効率 78.2%以上			
これと同等以上の評価となる					

H28年4月1日以降の新規申請では、使用することができませんのでご注意ください

依頼パターン記号		温熱1/3	No
----------	--	-------	----

現金取得者向け対象住宅証明書発行サービス

[別紙] 一括申請住宅番号整理票 参照

設計内容説明書 <鉄筋コンクリート造等> 5-1断熱等性能等級ver

の欄を記入のこと

建築物の名称			
建物種別	戸建住宅	共同住宅等	(一戸申請 一括申請 [別紙必須])

		設計内容説明欄			確認欄	
		項目	設計内容	記載図書		
温熱環境に関する こと	5 - 1 断熱等性能等級	等級	等級 4			
		地域区分	地域			
		躯体・開口部の断熱性能等	適用する基準	建築主等判断基準 設計施工指針(本則) 設計施工指針(附則)		
				建築主等判断基準 設計施工指針(本則)		
			外皮平均熱貫流率	・外皮平均熱貫流率 UA値 設計値 () W/m ² ·K) 開口部の熱貫流率 仕様U値 計算U値 併用	外皮平均熱貫流率 日射熱取得率計算書 断熱範囲図 仕上表 平面図 矩計図 計算U値計算書	
			冷房期の平均日射熱取得率	・冷房期の平均日射熱取得率 A値 設計値 ()		
				設計施工指針(附則)		
			適用条件	・開口部比率 ()		
		躯体の断熱性能等	1/10	() 外断熱 () 内断熱 断熱材仕様 () 断熱材厚さ (mm) 熱伝導率 (W/m·K) 熱抵抗値 (m ² ·K/W) 基準値 (m ² ·K/W) 熱貫流率 (W/m ² ·K) 基準値 (W/m ² ·K)	開口部比率計算書 断熱範囲図 仕上表 平面図 矩計図 計算U値計算書	
			2/10	() 外断熱 () 内断熱 断熱材仕様 () 断熱材厚さ (mm) 熱伝導率 (W/m·K) 熱抵抗値 (m ² ·K/W) 基準値 (m ² ·K/W) 熱貫流率 (W/m ² ·K) 基準値 (W/m ² ·K)		
		3/10	() 外断熱 () 内断熱 断熱材仕様 () 断熱材厚さ (mm) 熱伝導率 (W/m·K) 熱抵抗値 (m ² ·K/W) 基準値 (m ² ·K/W) 熱貫流率 (W/m ² ·K) 基準値 (W/m ² ·K)			
		4/10	() 外断熱 () 内断熱 断熱材仕様 () 断熱材厚さ (mm) 熱伝導率 (W/m·K) 熱抵抗値 (m ² ·K/W) 基準値 (m ² ·K/W) 熱貫流率 (W/m ² ·K) 基準値 (W/m ² ·K)			
		5/10	() 外断熱 () 内断熱 断熱材仕様 () 断熱材厚さ (mm) 熱伝導率 (W/m·K) 熱抵抗値 (m ² ·K/W) 基準値 (m ² ·K/W) 熱貫流率 (W/m ² ·K) 基準値 (W/m ² ·K)			
		6/10	() 外断熱 () 内断熱 断熱材仕様 () 断熱材厚さ (mm) 熱伝導率 (W/m·K) 熱抵抗値 (m ² ·K/W) 基準値 (m ² ·K/W) 熱貫流率 (W/m ² ·K) 基準値 (W/m ² ·K)			
		7/10	() 外断熱 () 内断熱 断熱材仕様 () 断熱材厚さ (mm) 熱伝導率 (W/m·K) 熱抵抗値 (m ² ·K/W) 基準値 (m ² ·K/W) 熱貫流率 (W/m ² ·K) 基準値 (W/m ² ·K)			
		8/10	() 外断熱 () 内断熱 断熱材仕様 () 断熱材厚さ (mm) 熱伝導率 (W/m·K) 熱抵抗値 (m ² ·K/W) 基準値 (m ² ·K/W) 熱貫流率 (W/m ² ·K) 基準値 (W/m ² ·K)			
		9/10	() 外断熱 () 内断熱 断熱材仕様 () 断熱材厚さ (mm) 熱伝導率 (W/m·K) 熱抵抗値 (m ² ·K/W) 基準値 (m ² ·K/W) 熱貫流率 (W/m ² ·K) 基準値 (W/m ² ·K)			
		10/10	() 外断熱 () 内断熱 断熱材仕様 () 断熱材厚さ (mm) 熱伝導率 (W/m·K) 熱抵抗値 (m ² ·K/W) 基準値 (m ² ·K/W) 熱貫流率 (W/m ² ·K) 基準値 (W/m ² ·K)			

H28年4月1日以降の新規申請では、使用することができませんのでご注意ください

依頼パターン記号		温熱2/3	No
[別紙] 一括申請住宅番号整理票 参照			

現金取得者向け対象住宅証明書発行サービス

の欄を記入のこと

設計内容説明書 < 鉄筋コンクリート造等 > 5-1断熱等性能等級ver

等級	設計内容説明欄			確認欄
地域区分	項目	設計内容	記載図書	
温熱環境に関する事 開口部の断熱性能等	設計施工指針(附則)			
	構造熱橋部 規準 等級4の 場合のみ記入 (8地域を除く)	断熱材の種類()	断熱範囲図	
		天井断熱材の厚さ (mm)		
		天井熱伝導率 (W/m·K) 基準値		
		天井熱抵抗値 (W/m ² ·K) (W/m ² ·K)		
		壁断熱材の種類()		
		壁断熱材の厚さ (mm)		
	壁熱伝導率 (W/m·K) 基準値			
	壁熱抵抗値 (W/m ² ·K) (W/m ² ·K)			
	床断熱材の種類()			
	床断熱材の厚さ (mm)			
	床熱伝導率 (W/m·K) 基準値			
	床熱抵抗値 (W/m ² ·K) (W/m ² ·K)			
	外断熱補強範囲 (mm以上)			
	内断熱補強範囲 (mm以上)			
	開口部比率の 区分	区分(い) 区分(ろ) 区分(は)		
	開口部の 断熱性能	開口部の熱貫流率 W/m ² K 2%緩和の適用あり	下記選択数値以下 8地域基準なし	2%緩和計算書 計算U値計算書
	開口部比率区分	1, 2 及び 3	4	5, 6 及び 7
	(い)	2.91	4.07	6.51
	(ろ)	2.33	3.49	4.65
(は)	1.90	2.91	4.07	
	開口部の熱貫流率	仕様U値	計算U値 併用	
窓の日射遮蔽 仕様	窓の日射遮蔽仕様 4%緩和の適用あり		4%緩和計算書	
	戸建住宅等用			
地域区分	開口部 比率	建具の種類若しくはその他又は付属部材、ひさし、軒等の設置		
1~3地域	(い)(ろ)(は)	-		
4地域	(い)(ろ)(は)	-		
5~7地域	(い)	-		
	(ろ)	ガラスの日射熱取得率が0.74以下であるもの 付属部材又はひさし、軒等を設けるもの		
	(は)	ガラスの日射熱取得率が0.49以下であるもの ガラスの日射熱取得率が0.74以下のものに、ひさし、軒等を設けるもの 付属部材(南±22.5度に設置するものについては、外付けブラインドに限る) を設けるもの		
8地域	(い)	付属部材又はひさし、軒等を設けるもの		
	(ろ)	ガラスの日射熱取得率が0.68以下のものに、ひさし、軒等を設けるもの 付属部材を設けるもの		
	(は)	ガラスの日射熱取得率が0.49以下のものに、付属部材(南±22.5度に設置 するものについては、外付けブラインドに限る)又はひさし、軒等を設けるもの		
	共同住宅等用			
地域区分	開口部 比率	建具の種類若しくはその他又は付属部材、ひさし、軒等の設置		
1~3地域	(い)(ろ)(は)	-		
4地域	(い)(ろ)(は)	-		
5~7地域	(い)(ろ)(は)	-		
8地域	(い)	-		
	(ろ)	付属部材又はひさし、軒等を設けるもの		
	(は)	ガラスの日射熱取得率が0.68以下であるものに、ひさし、軒等を設けるもの 付属部材を設けるもの		
	<p>「付属部材」 和障子と外付けブラインド等、開口部に建築的に取り付けられるもの</p> <p>「ひさし、軒等」の設置の場合の仕様 オーバーハング型日除けで、東南から南を経て南西までの方位に設置 外壁からの出寸法がその下端から窓下端までの高さの0.3倍以上</p>			

H28年4月1日以降の新規申請では、使用することができませんのでご注意ください

依頼パターン記号		温熱3/3	No
[別紙] 一括申請住宅番号整理票 参照			

現金取得者向け対象住宅証明書発行サービス

の欄を記入のこと

設計内容説明書 <鉄筋コンクリート造等> 5-1断熱等性能等級ver

等級	設計内容説明欄			確認欄	
地域区分	項目	設計内容	記載図書		
温熱環境に関すること	結露の発生を防止する対策に関する基準	結露の発生を防止する対策 等級4 a~d 等級3 a及びd 等級2 a	a 透湿抵抗の小さい断熱材の使用有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 繊維系断熱材等、プラスチック系断熱材 (吹付け硬質ウレタンフォームA種1、A種2等を除く)等 断熱材の室内側へ防湿層を設ける 以下による除外の適用 8地域を除く コンクリート躯体の外側に断熱層がある場合を除く 床断熱において、 断熱材下側が床下に露出するか、 湿気の放出を妨げない構成を除く 透湿抵抗比 部位: () 以上)	断熱範囲図 透湿抵抗比計算書	
			b 屋根又は外壁を断熱構造とし、断熱層の外気側への通気層の設置、その他換気上有効な措置を講じている <input type="checkbox"/> 該当しない <input type="checkbox"/> 措置あり <input type="checkbox"/> 措置なし		
			c 鉄筋コンクリート造 構造熱橋部(玄関床部分を除く)の断熱補強		
			1~5 地域のみ 内断熱工法 構造熱橋部 <input type="checkbox"/> 梁・柱が室内側に突出している <input type="checkbox"/> 梁・柱が室外側に突出している <input type="checkbox"/> 梁・柱が室内側、室外側のいずれにも突出していない		
			床面 断熱材の種類() 断熱材の厚さ () mm 熱伝導率 () W/mK 基準値 熱抵抗値 () m ² K/W () m ² K/W)		
			壁面 断熱材の種類() 断熱材の厚さ () mm 熱伝導率 () W/mK 基準値 熱抵抗値 () m ² K/W () m ² K/W) 断熱補強範囲 () mm以上)		
			1,2地域のみ 外断熱工法 構造熱橋部 <input type="checkbox"/> 梁・柱が室内側に突出している <input type="checkbox"/> 梁・柱が室内側、室外側のいずれにも突出していない		
			床と壁の取合部 断熱材の種類() 断熱材の厚さ () mm 熱伝導率 () W/mK 基準値 熱抵抗値 () m ² K/W () m ² K/W)		
			壁と屋根取合部 断熱材の種類() 断熱材の厚さ () mm 熱伝導率 () W/mK 基準値 熱抵抗値 () m ² K/W () m ² K/W) 断熱補強範囲 () mm以上)		
			d 鉄筋コンクリート造 / 内断熱工法 断熱材をコンクリート躯体に全面密着等の措置あり		

H28年4月1日以降の新規申請では、使用することができませんのでご注意ください

依頼パターン記号	一次エネ1/1
[別紙] 一括申請住宅番号整理票 参照	

現金取得者向け対象住宅証明書発行サービス

設計内容説明書 < 鉄筋コンクリート造等用 > 5-2 一次エネルギー消費量等級

の欄を設計者が記入のこと

建築物の名称				
建物種別	戸建住宅	共同住宅等	(一戸申請 一括申請 [別紙必須])	
等級	項目	設計内容	記載図書	確認欄
地域区分				
温熱環境・エネルギー消費量に関すること	評価適用基準			
	一次エネルギー消費量基準			一次エネルギー消費量計算結果
	設計施工指針 附則6	戸建	外皮等面積の床面積比率に適合する	外皮等面積床面積比率計算書
			1~3地域 2.9以下	
	共同等	外皮性能	4~8地域 2.8以下	
			1~3地域 0.3×(界壁・界床等面積合計/床面積合計)+2.9 以下	床面積比率計算書
			4~8地域 0.5×(界壁・界床等面積合計/床面積合計)+2.7 以下	
	5-1における外皮性能が等級4の基準に適合相当(結露発生防止基準を除く)設計施工指針附則5に適合			外皮性能適合確認書類 附則適合確認書類
	5-2 一次エネルギー消費量等級			
	一次エネルギー消費量			仕上表 平面図 矩計図
基本事項等	面積等	主たる居室の面積 (別途計算書による m ²)	その他の居室の面積 (別途計算書による m ²)	
	単位温度差当たりの外皮熱損失量(q)			
	単位日射強度当たりの冷房期の日射熱取得量(mc)			
	単位日射強度当たりの暖房期の日射熱取得量(mh) (別途計算書による W/K)			
設備機器概要	床面積あたりの一次エネルギー消費量 (別途計算書による MJ/(m ² ・年))			
	自然風利用	自然風の利用	主たる居室 その他の居室	
	蓄熱利用	蓄熱の利用		
暖房方式 換気設備方式 給湯設備 照明設備 太陽光発電設備の採用			平面図 機器表 系統図	
設計施工指針附則6 (設計施工指針附則)				
暖房設備 (8地域を除く)			一次エネルギー消費量計算結果	
単位住戸全体を暖房する方式				
ダクト式セントラル空調であってヒートポンプが熱源				
居室のみを暖房する方式				
連続運転	1~4地域	石油熱源機を用いた 温水暖房用パネルラジエーター JIS S3031熱効率 83.0%以上かつ、配管に断熱被覆あり	ガス熱源機を用いた 温水暖房用パネルラジエーター JIS S2112熱効率 82.5%以上かつ、配管に断熱被覆あり	
	5~7地域			
間歇運転	密閉式石油ストーブ(強制対流式) JIS S3031熱効率 86.0%以上	ルームコンディショナー JIS B8615-1 暖房能力を消費電力で除した数値が -0.321×暖房能力(KW)+6.16以上		
これと同等以上の評価となる				
冷房設備			各設備での同等以上の評価となる等の評価とする場合、標準仕様の計算書と設計設備仕様で計算した一次エネルギー消費量計算結果が必要となります	
単位住戸全体を冷房する方式				
ダクト式セントラル空調であってヒートポンプが熱源				
居室のみを暖房する方式				
間歇運転	ルームコンディショナー JIS B8615-1 冷房能力を消費電力で除した数値が -0.504×暖房能力(KW)+5.88以上			
これと同等以上の評価となる				
換気設備				
全般換気設備の比消費電力 換気回数0.5回以下の場合において0.3(W/(m ³ /h))以下				
これと同等以上の評価となる				
照明設備				
非居室に白熱灯を採用しない				
これと同等以下の性能の照明設備を採用しない				
給湯設備				
1~4地域		5~8地域		
石油給湯機 JIS S2075		ガス給湯機 JIS S2075		
モード熱効率 81.3%以上		モード熱効率 78.2%以上		
これと同等以上の評価となる				

H27年4月1日以降の新規申請では、当該基準は使用することができませんのでご注意ください

依頼パターン記号		温熱1/4	No
[別紙] 一括申請住宅番号整理票 参照			

現金取得者向け対象住宅証明書発行サービス

設計内容説明書 <鉄筋コンクリート造等> 5-1省エネルギー対策等級ver

の欄を記入のこと

建築物の名称			
建物種別	戸建住宅	共同住宅等	(一戸申請 一括申請 [別紙必須])

性能表示事項 5-1	躯体の断熱性能	開口部の断熱性能	開口部の断熱性能	結露発生防止対策
5-1イ 熱損失係数等基準	熱損失係数		夏期日射取得係数	結露発生防止
5-1ロ 熱貫流率等基準	熱貫流率 熱抵抗値	開口部の熱貫流率 開口部の建具	窓の夏期日射侵入率 開口部の日射侵入防止	

等級	等級4	項目	設計内容	記載図書	確認欄
地域区分					

温熱環境に関する事項	躯体の断熱性能に関する基準								
	5-1イ 熱損失係数等基準	熱損失係数 Q値	熱損失係数の基準値 W/m ² K 下記選択数値以下			熱損失計算書 断熱範囲図 平面図 矩計図 計算U値計算書			
	熱損失係数	等級4	1.6	1.9	2.4		2.7	2.7	3.7
		等級3	1.8	2.7	3.1		3.6	3.9	6.2
		等級2	2.8	4.0	4.4		4.9	7.1	7.1
			上記計算値は熱損失計算書を添付要 開口部の熱貫流率 仕様U値 計算U値 併用 小規模な住宅 冬季に日射を積極的に取り入れることが可能な住宅						
	5-1ロ 熱貫流率等基準	1/11	断熱材仕様 ()	断熱材厚さ ()	熱伝導率 (W/mK)	熱貫流率 (W/m ² K)	外断熱 内断熱		
	躯体の断熱性能等 1/2	2/11	断熱材仕様 ()	断熱材厚さ (mm)	熱伝導率 (W/mK)	熱貫流率 (W/m ² K)	外断熱 内断熱		
	鉄骨造における 外張断熱工法および 内張断熱工法以外 の場合は 別途お問合せ下さい	3/11	断熱材仕様 ()	断熱材厚さ (mm)	熱伝導率 (W/mK)	熱貫流率 (W/m ² K)	外断熱 内断熱		
	断熱材の熱伝導率が 一致しない場合は 手入力をお願いします 熱伝導率の証明書は 必要となります	4/11	断熱材仕様 ()	断熱材厚さ (mm)	熱伝導率 (W/mK)	熱貫流率 (W/m ² K)	外断熱 内断熱		
	5/11	断熱材仕様 ()	断熱材厚さ (mm)	熱伝導率 (W/mK)	熱貫流率 (W/m ² K)	外断熱 内断熱			
	6/11	断熱材仕様 ()	断熱材厚さ (mm)	熱伝導率 (W/mK)	熱貫流率 (W/m ² K)	外断熱 内断熱			
	7/11	断熱材仕様 ()	断熱材厚さ (mm)	熱伝導率 (W/mK)	熱貫流率 (W/m ² K)	外断熱 内断熱			
	8/11	断熱材仕様 ()	断熱材厚さ (mm)	熱伝導率 (W/mK)	熱貫流率 (W/m ² K)	外断熱 内断熱			
	9/11	断熱材仕様 ()	断熱材厚さ (mm)	熱伝導率 (W/mK)	熱貫流率 (W/m ² K)	外断熱 内断熱			

H27年4月1日以降の新規申請では、当該基準は使用することができませんのでご注意ください

依頼パターン記号		温熱2/4	No
[別紙] 一括申請住宅番号整理票 参照			

現金取得者向け対象住宅証明書発行サービス
 設計内容説明書 <鉄筋コンクリート造等> 5-1省エネルギー対策等級ver

の欄を記入のこと

等級	等級4	項目	設計内容	記載図書	確認欄				
温熱環境に関する こと	地域区分								
	5-1口 熱貫流率等基準	10/11	断熱材仕様 () 外断熱 断熱材厚さ () 内断熱 断熱材厚さ (mm) 熱伝導率 (W/mK) 熱抵抗値 (m ² ·K/W) 基準値 (m ² ·K/W) 熱貫流率 (W/m ² ·K) 基準値 (W/m ² ·K)						
	躯体の 断熱性能等 1/2	11/11	断熱材仕様 () 外断熱 断熱材厚さ () 内断熱 断熱材厚さ (mm) 熱伝導率 (W/mK) 熱抵抗値 (m ² ·K/W) 基準値 (m ² ·K/W) 熱貫流率 (W/m ² ·K) 基準値 (W/m ² ·K)						
	鉄骨造における 外張断熱工法および 内張断熱工法以外 の場合は 別途お問合せ下さい		構造熱橋部 規準	断熱材の種類 () 天井 断熱材の厚さ (mm) 熱伝導率 (W/mK) 基準値 熱抵抗値 (m ² ·K/W) (m ² ·K/W)	断熱範囲図 平面図 矩計図 断熱補強緩和検討書				
	断熱材の熱伝導率が 一致しない場合は 手入力をお願いします 熱伝導率の証明書は 必要となります	等級4の 場合のみ記入 (地域を除く)	壁	断熱材の種類 () 断熱材の厚さ (mm) 熱伝導率 (W/mK) 基準値 熱抵抗値 (m ² ·K/W) (m ² ·K/W)					
			床	断熱材の種類 () 断熱材の厚さ (mm) 熱伝導率 (W/mK) 基準値 熱抵抗値 (m ² ·K/W) (m ² ·K/W)					
				外断熱補強範囲 (mm以上) 内断熱補強範囲 (mm以上)					
				窓、屋根又は天井、開口部の断熱性能強化により、 断熱補強を省略する 緩和検討書添付要					
	開口部の断熱性能等に関する基準								
5-1口 熱貫流率等基準	開口部の 熱貫流率		・ 開口部の熱貫流率 2%緩和の適用あり 下記選択数値(W/m ² K)以下	2%緩和計算書 計算U値計算書					
開口部の 断熱性能等	等級4	2.33	2.33			3.49	4.65	4.65	3.70
	等級3	2.33	3.49			4.65	6.51	6.51	6.51
	等級2	3.49	4.65			6.51	6.51	6.51	6.51
		開口部の熱貫流率	仕様U値			計算U値	併用		
	開口部の 建具仕様		・ 開口部の建具仕様 2%緩和の適用あり						
	建具 種別	建具の構造	ガラス中央部 の熱貫流率 (U値)			ガラスの組合せ			

H27年4月1日以降の新規申請では、当該基準は使用することができませんのでご注意ください

依頼パターン記号		温熱3/4	No
[別紙] 一括申請住宅番号整理票 参照			

現金取得者向け対象住宅証明書発行サービス
設計内容説明書 <鉄筋コンクリート造等> 5-1省エネルギー対策等級ver

の欄を記入のこと

等級	等級4	項目	設計内容	記載図書	確認欄																								
温熱環境に関する こと	5-1イ 熱損失係数等 基準	夏期日射取得係数 μ値	・夏期日射取得係数の基準値 下記選択数値以下 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>等級4</td> <td>0.08</td> <td>0.08</td> <td>0.07</td> <td>0.07</td> <td>0.07</td> <td>0.06</td> </tr> <tr> <td>等級3</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.01</td> <td>0.10</td> <td>0.10</td> <td>0.08</td> </tr> </table> 上記計算値は夏期日射取得係数計算書を添付要 計算U値による夏期日射取得係数計算はできません 計算U値による計算プログラム上の日射侵入率は使用することはできません	等級4	0.08	0.08	0.07	0.07	0.07	0.06	等級3	-	-	0.01	0.10	0.10	0.08	夏期日射取得係数計算書											
	等級4	0.08	0.08	0.07	0.07	0.07	0.06																						
	等級3	-	-	0.01	0.10	0.10	0.08																						
	5-1ロ 熱貫流率等 基準	窓の夏期日射侵入率	・窓の夏期日射侵入率 4%緩和の適用あり 下記選択数値以下 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>等級4</td> <td>真北±30°</td> <td>0.52</td> <td>0.52</td> <td>0.55</td> <td>0.55</td> <td>0.55</td> <td>0.60</td> </tr> <tr> <td>等級4</td> <td>上記以外</td> <td>0.52</td> <td>0.52</td> <td>0.45</td> <td>0.45</td> <td>0.45</td> <td>0.40</td> </tr> <tr> <td>等級3</td> <td>真南±112.5°</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.60</td> <td>0.60</td> <td>0.60</td> <td>0.60</td> </tr> </table> 計算U値による計算プログラム上の日射侵入率は使用することはできません	等級4	真北±30°	0.52	0.52	0.55	0.55	0.55	0.60	等級4	上記以外	0.52	0.52	0.45	0.45	0.45	0.40	等級3	真南±112.5°	-	-	0.60	0.60	0.60	0.60	平面詳細図 夏期日射侵入率計算書 4%緩和計算書	
	等級4	真北±30°	0.52	0.52	0.55	0.55	0.55	0.60																					
	等級4	上記以外	0.52	0.52	0.45	0.45	0.45	0.40																					
	等級3	真南±112.5°	-	-	0.60	0.60	0.60	0.60																					
		開口部の 日射 侵入防止	開口部の建具、 付属部材、ひさし、軒 その他日射の侵入防止	・開口部の建具、付属部材他、日射侵入防止部材仕様 4%緩和の適用あり	4%緩和計算書																								
		等級4	地域	仕様																									
			全方位	ガラスの日射侵入率 0.66以下 付属部材又はひさし、軒等を設ける																									
		真北±30°	ガラスの日射侵入率 0.70以下 付属部材を設ける																										
		上記以外	ガラスの日射侵入率 0.57以下 付属部材又はひさし、軒等を設ける																										
		真北±30°	ガラスの日射侵入率 0.60以下 付属部材を設ける																										
		上記以外	ガラスの日射侵入率 0.49以下 ガラスの日射侵入率 0.66未満 + 付属部材又はひさし、軒等 内付けブラインド又はこれと同等以上の日射遮蔽性能付属部材 付属部材及びひさし、軒等を設ける																										
		真北±30°	ガラスの日射侵入率 0.66以下 付属部材を設ける																										
		上記以外	ガラスの日射侵入率 0.43以下 遮熱複層ガラス・遮熱低放射複層ガラス + 付属部材又はひさし、軒等 紙障子又はこれと同等以上の日射遮蔽性能付属部材 付属部材及びひさし、軒等を設けるもの																										
	等級3		東北東から南を経て 西北西まで	ガラスの日射侵入率 0.66以下 付属部材又はひさし、軒等を設ける																									
			「ひさし、軒等」の設置の場合の仕様 オーバーハング型日除けで、東南から南を経て南西までの方位に設置 外壁からの出寸法がその下端から窓下端までの高さの0.3倍以上																										

